

越前出勢羽柴柴田幸福

属 秀吉 関門

松永謀叛志貴山城落亡

属 傳 助 安 死



繪本豊臣勲功記四編卷之七

江戸 八功舎 徳水剛補

信長昇殿被任右左將属安去築城

後漢の光武宣く。賈復八千里の威ありと漢去ハそれを大武とせる
とも。今遠征田小比校しぬまは。又稱する小足さるべし。然れども信長
ハ欣然として彼阜城一軍を降させむ。同年十月上の十日。又復上
洛ありせらま。去ぬる天正元年。義昭公二条の城を退去の後信長天
下の政道代執行すくおろし。なるゆゑ威勢天地をも刀尺とせ。これ
よきて禁中も。殊に信長を重んぜらる。諸卿方ハ猶更に尊敬する
事神の如し。遠道上洛ありつゝ。西三條大納言實條御水を頼
宰相親氏卿江州柏原まで所迎ある。其外隣國の大小名瀬田造坂